

2024年3月期(2023年度) 第2四半期 決算説明会



「キレイ」のチカラで
みんなを笑顔に

2023年11月13日
日本精化株式会社

内容

1. **第14次中期経営計画(2023-2026年度) 概要**
2. **2024年3月期 第2四半期 決算概要**
3. **2024年3月期 通期 業績予想**

内容

- 1. 第14次中期経営計画(2023-2026年度) 概要**
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想

日本精化 NFC VISION 2030



サステナブルなモノづくりで、地球の「キレイ」をお手伝い
コンプライアンスと安全・安心で、社会の「キレイ」をお手伝い
多様性を活かしたイノベーションで、未来の「キレイ」をお手伝い

中期経営計画(2023-2026年度) 概要

2018～2022年度

第13次中期経営計画

持続的な成長に向けた
ガバナンス強化ステージ

【ガバナンス強化】

- * 東証プライム市場上場
(CGコード対応)
- * NFC VISION 2030の策定
(ありたい姿の策定、共有)
- * サステナビリティ対応
(サステナビリティ推進体制の整備)
- * 事業、資産ポートフォリオ見直し
(子会社整理、固定資産売却)

2023～2026年度

第14次中期経営計画

積極的な投資による
成長基盤強化ステージ

【成長基盤強化】

- * 事業ポートフォリオ見直し
(セグメント再構築)
- * 戦略製品の設定
(リン脂質といえば日本精化)
- * 設備投資強化と研究開発投資
(生産能力向上、次世代製品及び製造技術の開発)
- * サステナビリティ対応の強化
(数値目標達成のための具体的取組)

2027～2030年度

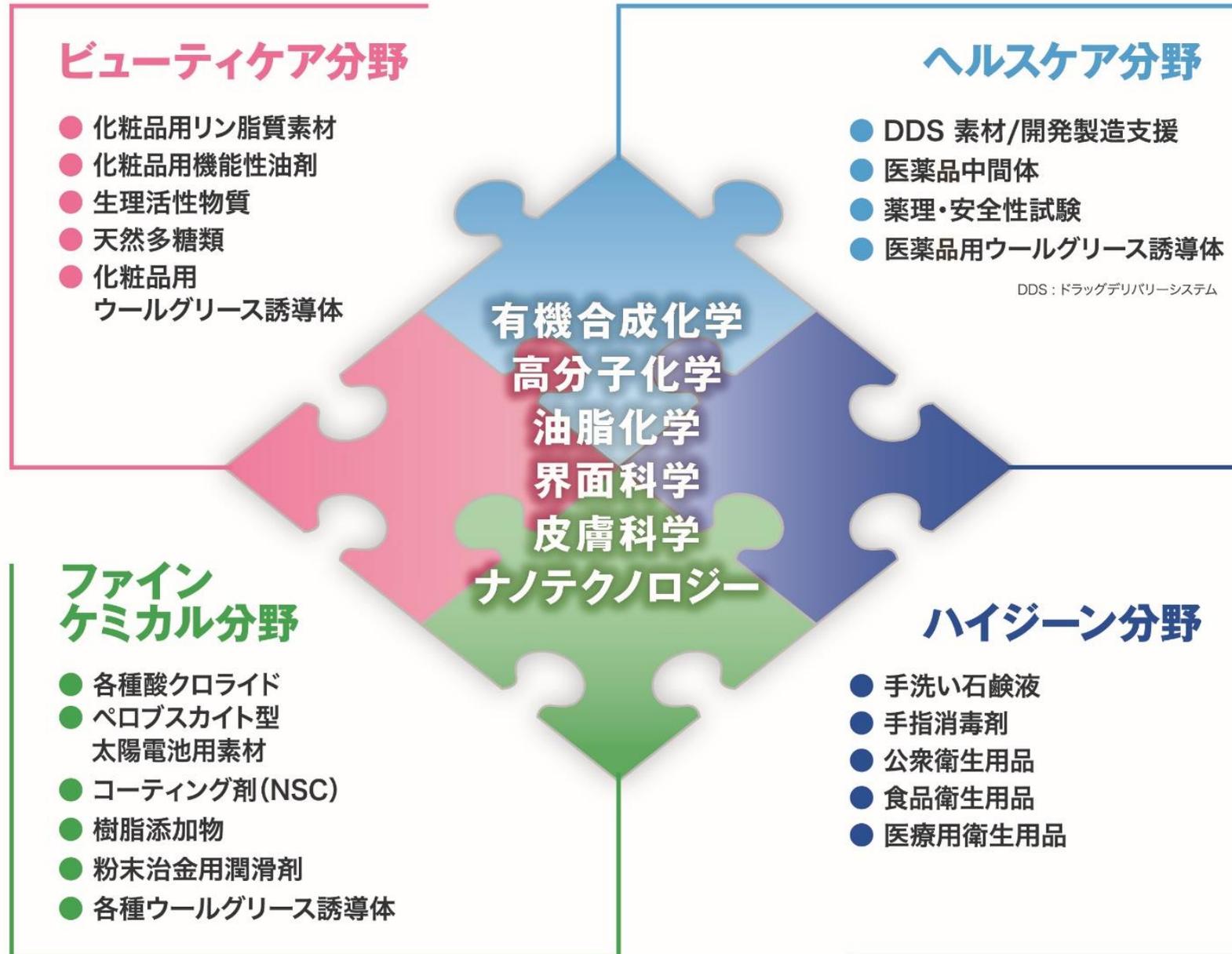
第15次中期経営計画

NFC VISION 2030実現への
成長・収益拡大ステージ

【成長・収益拡大】

- * NFC VISION 2030の実現
(ありたい姿の達成)
- * 持続的成長の実現
(「目指す姿」数値目標の達成)
- * サステナビリティ対応実現
(2030年度までの目標達成)

日本精化グループ 事業領域



内容

1. 第14次中期経営計画(2023-2026年度) 概要
- 2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要**
3. 2024年3月期 通期 業績予想

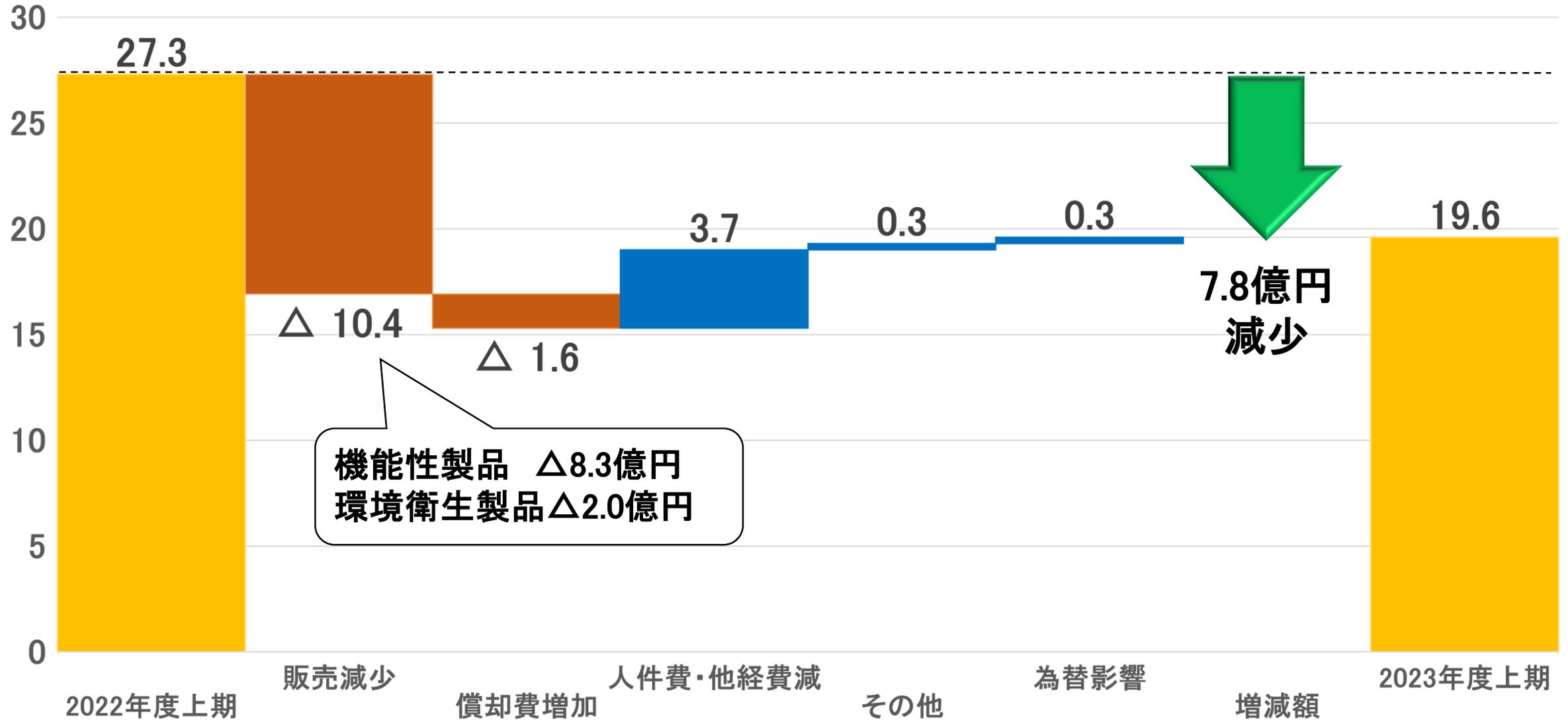
2023年度第2四半期 連結決算概要

単位: 億円

	2022年度 上期	2023年度 上期		期首予想 (2023年4月28日公表)	
	実績金額	実績金額	対前年 増減率	金額	予想比 増減率
売上高	186.8	161.8	▲13.4%	180.0	▲10.1%
営業利益	27.3	19.6	▲28.1%	21.0	▲6.6%
営業利益率	14.6%	12.1%	—	11.7%	—
EBITDA(償却前営業利益)	29.0	25.7	▲11.4%	27.0	▲5.0%
経常利益	29.1	21.2	▲26.9%	22.8	▲6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	19.6	15.0	▲23.4%	16.3	▲8.0%
1株当たりの当期純利益(円)	82.8	65.7	—	71.5	—

2023年度第2四半期 連結決算 営業利益分析

単位: 億円



2023年度第2四半期 連結決算 セグメント別概要

単位:億円

	2022年度 上期			2023年度 上期			対前年差額			対前年 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	145.8	22.6	26.6	125.9	16.9	22.5	▲19.9	▲5.7	▲4.0	▲13.7%	▲25.1%	▲15.1%
ビューティケア	38.3	11.0	11.9	40.3	11.7	12.9	2.0	0.8	1.0	5.3%	7.2%	8.1%
ヘルスケア	27.1	3.7	5.6	23.3	0.0	3.6	▲3.8	▲3.7	▲2.0	▲14.0%	▲100.0%	▲35.5%
ファインケミカル	39.1	6.6	7.6	25.0	3.5	4.4	▲14.1	▲3.0	▲3.2	▲36.1%	▲46.3%	▲41.9%
トレーディング	41.4	1.4	1.5	37.3	1.7	1.7	▲4.1	0.2	0.2	▲9.9%	16.2%	13.3%
環境衛生製品 (ハイジーン)	39.4	3.8	4.2	34.6	2.1	2.4	▲4.7	▲1.7	▲1.8	▲12.0%	▲44.3%	▲42.0%
その他	1.6	0.8	1.0	1.3	0.5	0.7	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲18.7%	▲34.9%	▲30.6%
連結合計	186.8	27.3	31.7	161.8	19.6	25.7	▲25.0	▲7.7	▲6.1	▲13.4%	▲28.1%	▲19.1%

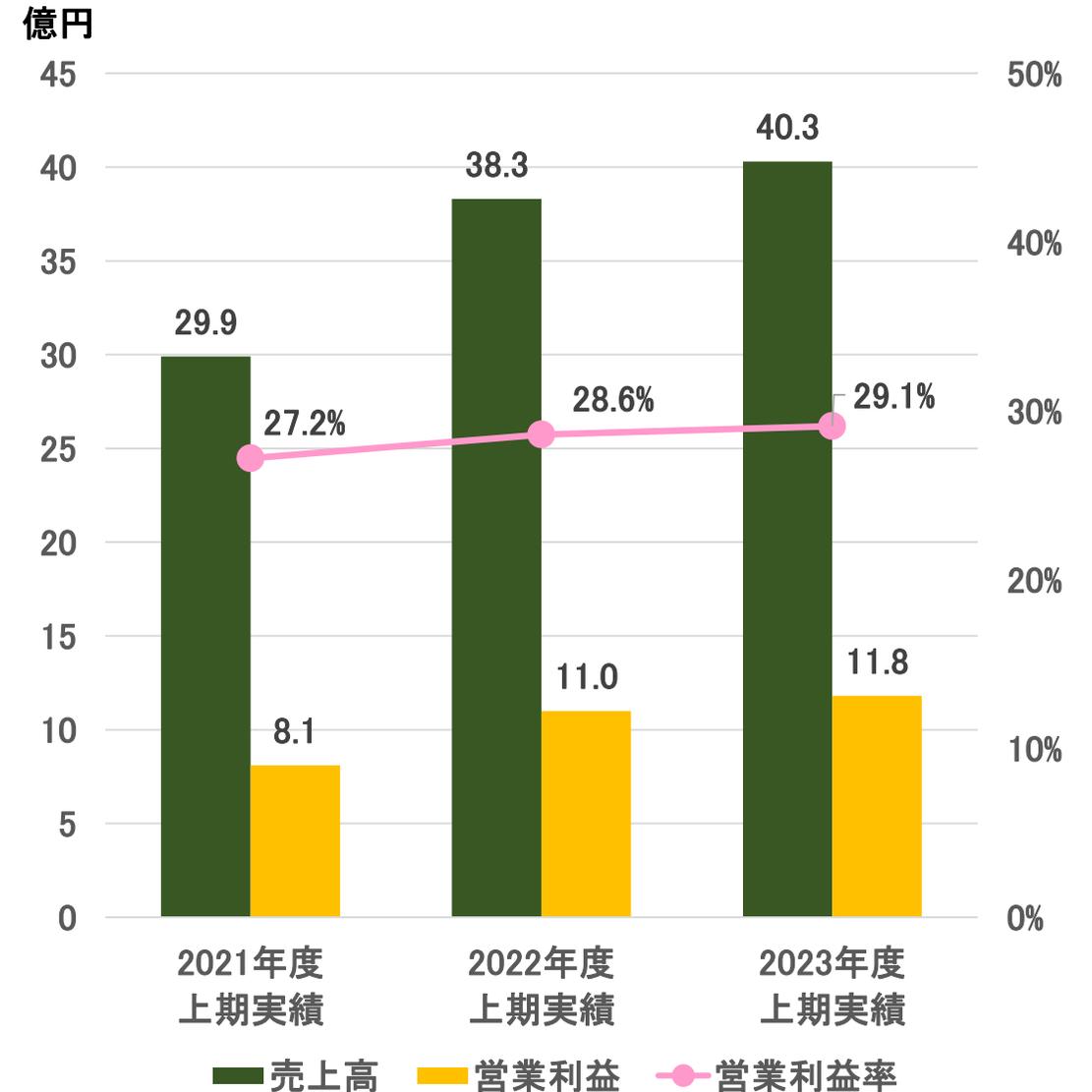
機能性製品 ビューティケア

対象品目

- ・化粧品用リン脂質素材
- ・化粧品用機能性油剤
- ・生理活性物質(美白主剤など)
- ・天然多糖類(シロキクラゲ多糖体、イヌリン)
- ・化粧品用ウールグリース誘導體(ラノリン・コレステロール)

第2四半期までの状況

- (+) サステナブル対応で、海外向け「化粧品用機能性油剤」が好調。
- (+) 国内向け「化粧品用リン脂質素材」の販売が堅調。
- (+) 国内向け「生理活性物質(美白主剤)」の販売が堅調。
- (-) 米国向け「化粧品用ウールグリース誘導體」の販売減少。



機能的製品 ヘルスケア

対象品目・サービス

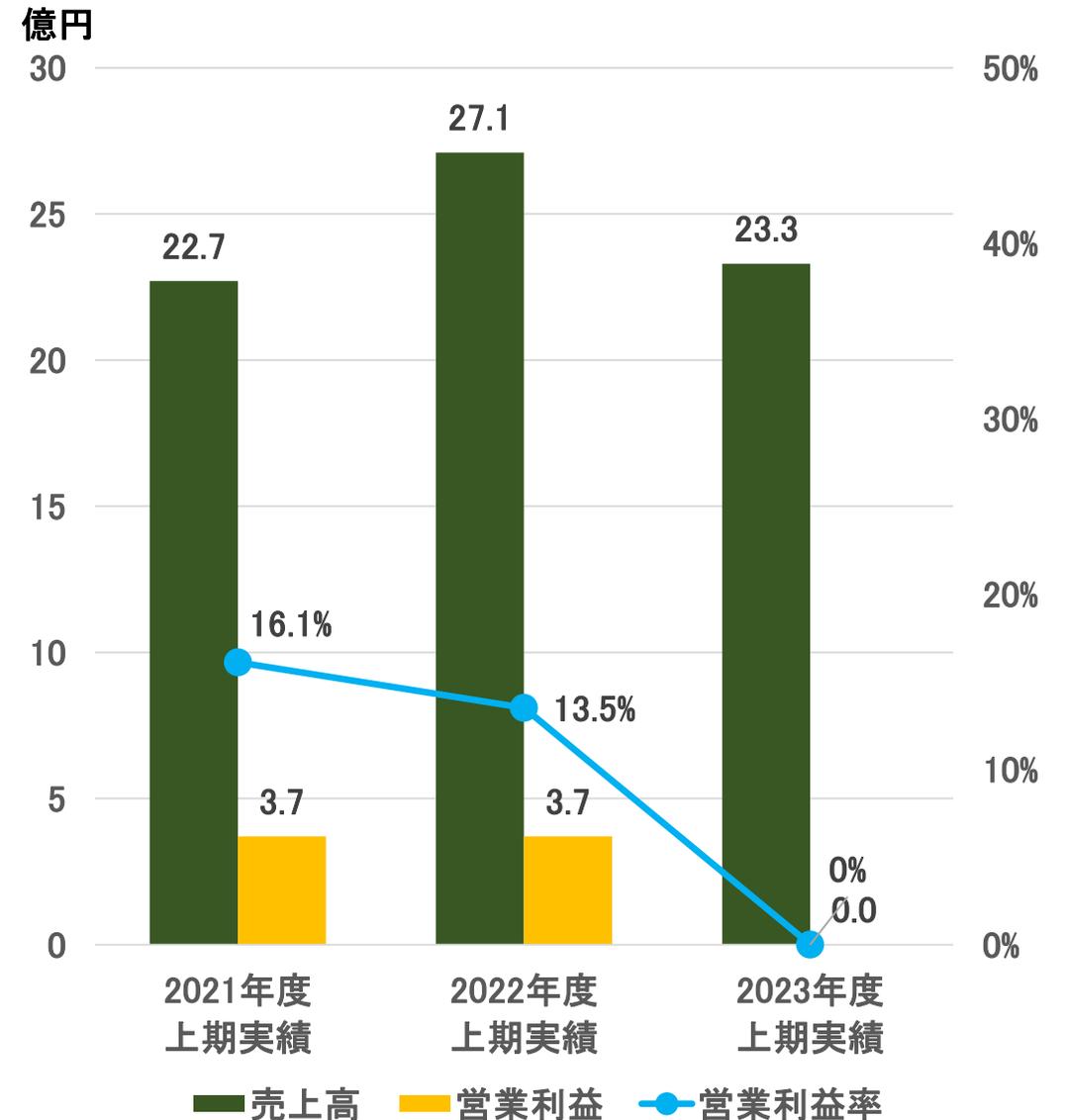
- ・医薬品用高純度リン脂質
- ・医薬品用ウールグリース誘導体(ラノリン/コレステロール)
- ・CDMO開発支援(リポソーム化/LNP化)
- ・医薬品中間体
- ・薬理・安全性試験(日精バイリス)

第2四半期までの状況

- (+) 医薬品用ウールグリース誘導体(ラノリン)の輸出が堅調。
- (-) Gilead向け:
新プラントでのテスト生産による数量減(テスト生産終了)。
- (-) 医薬品用リン脂質: 新プラントの減価償却費の増加。
- (-) 医薬品用リン脂質: 主要顧客の計画変更により下期へ出荷シフト。

* CDMO: Contract Development and Manufacturing Organization 医薬品製造開発受託

* LNP: リピッドナノパーティクル



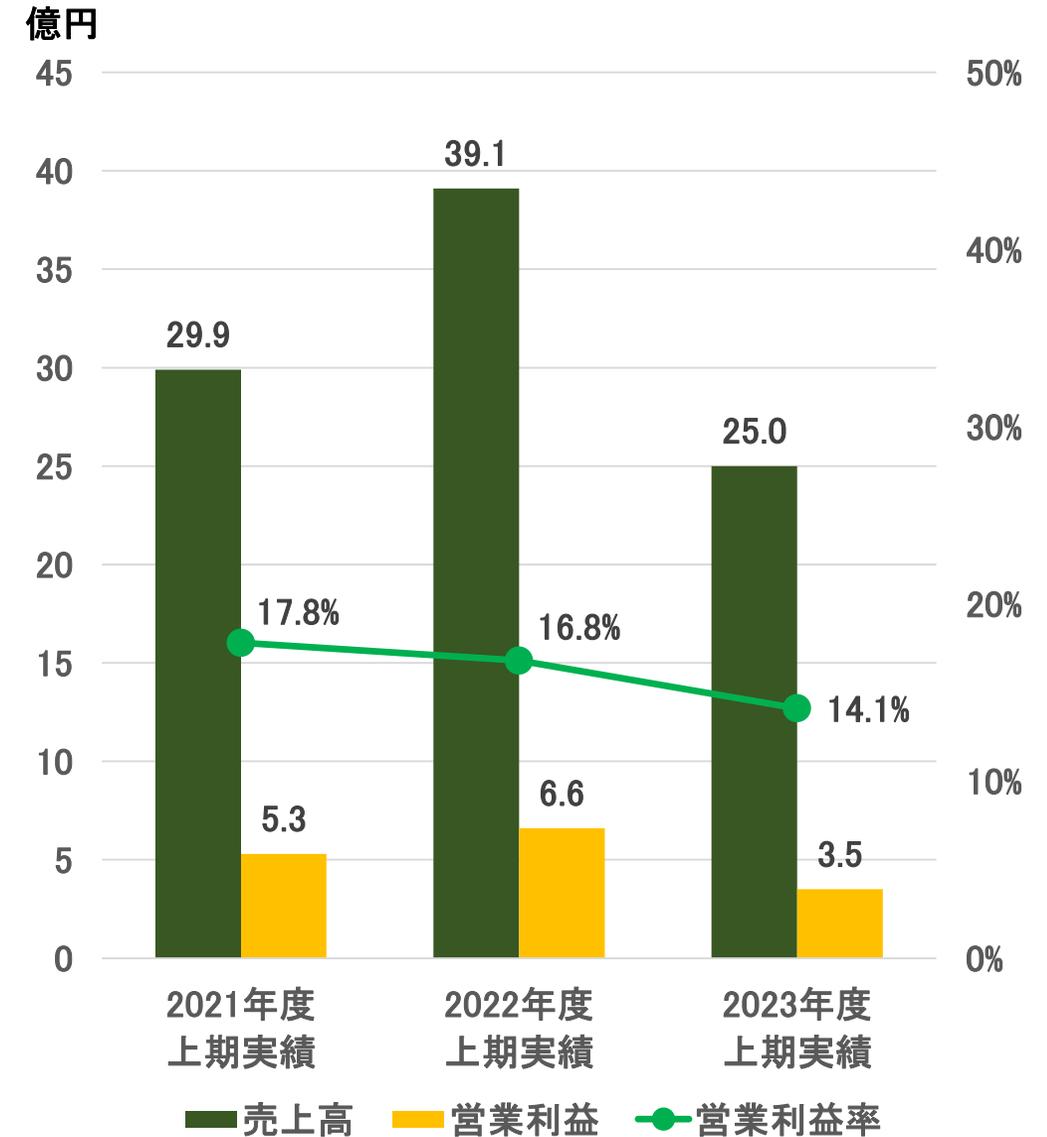
機能的製品 ファインケミカル

■ 対象品目

- ・電子材料、資源エネルギー用素材(各種酸クロライド)
- ・ペロブスカイト型(PSC)太陽電池用素材
- ・樹脂添加物(脂肪酸アמיד)
- ・各種ウールグリース誘導体(飼料用コレステロール)
- ・コーティング剤(NSC)

■ 第2四半期までの状況

- (±) 既存品の選択と集中を推進中。
(各種酸クロライド、コーティング剤)
- (-) 海外向け飼料用コレステロールの販売減少。
- (-) 中国での需要減による脂肪酸アמידの販売減少。
- (+) PSC太陽電池用素材: 社会実装が着実に進展。



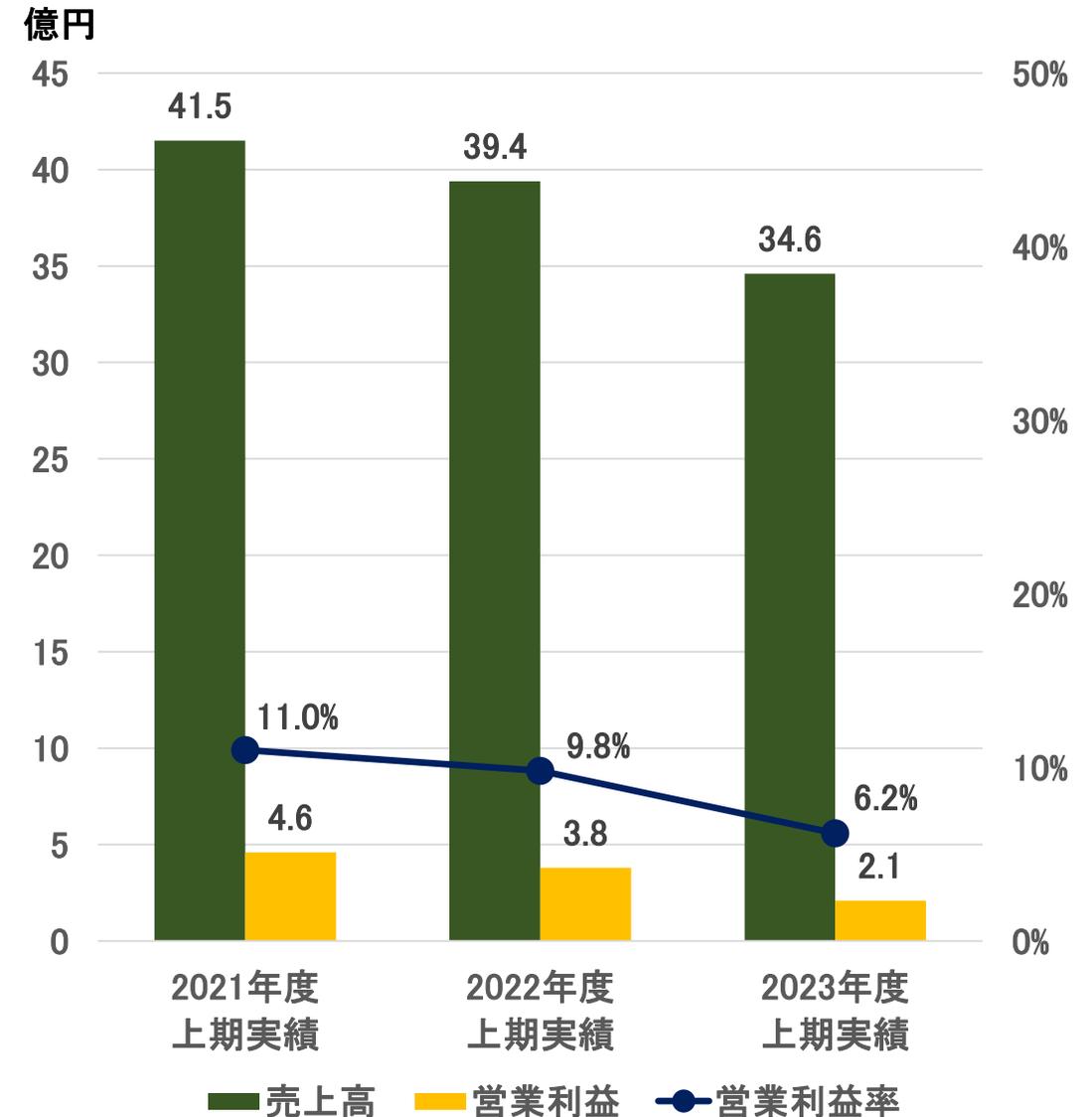
環境衛生製品 ハイジーン

■ 対象品目・サービス

- ・手洗い石鹼液
- ・手指消毒剤
- ・公衆衛生用品
- ・食品衛生用品
- ・医療用衛生用品

■ 第2四半期までの状況

- (-) 新型コロナウイルス感染症が第5類移行後、急速な感染症対策製品への需要減による流通在庫過多の影響。
- (+) 企業備蓄に対する長期保存可能な手指消毒剤の上市。
- (+) サステナブル製品の上市。
- (+) 病院・介護施設への対面営業を強化。



2023年度第2四半期 連結貸借対照表

単位:億円

勘定科目	2023年9月末残高	前年度末比増減	主な増減要因
現預金	103.4	+14.0	
売掛債権	85.5	▲3.1	
たな卸資産	112.9	+2.8	
有形固定資産	140.1	▲2.2	
投資その他資産	126.3	+3.0	一部売却も、投資有価証券含み益増加
その他	9.3	▲3.8	
資産合計	577.4	+10.7	
買掛債務	38.1	▲4.5	
繰延税金負債	22.3	▲4.2	
その他	41.9	+5.3	環境対策引当金計上
負債合計	102.4	▲3.3	
純資産合計	475.1	+14.1	自己資本比率80.7%(前年度末比+0.8%)
一株当たり純資産	2,040.32円	+55.74円	

2023年度第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

区分	2023年第2四半期	主な増減要因
税前利益	21.3	
減価償却	6.1	
運転資本増加	▲2.8	
法人税等支払	▲6.4	
その他	3.9	
営業CF	22.0	
投資CF	▲4.5	有形固定資産取得▲5.3
(フリーCF)	(17.5)	
財務CF	▲7.0	配当▲6.6
換算差額	0.6	
現金同等物増減	11.1	

2023年度 トピックス

○第14次中期経営計画(2023-2026年度:4ヶ年)をスタート

○戦略品目:リン脂質素材

→ 医薬品用リン脂質:オープンイノベーションのための「湘南ラボ」開設

○戦略品目:ペロブスカイト型太陽電池用素材

→ 新規ブランド: Spirokite™(スピロカイト)の立上げ、特設サイト開設

○サステナビリティ対応強化 →TCFDレポート2023

○統合報告書 11月2日公表

○EcoVadis社のサステナビリティ調査にて「ゴールド」評価取得



内容

1. 第14次中期経営計画(2023-2026年度) 概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
- 3. 2024年3月期 通期 業績予想**

2023年度通期 連結業績予想 概要

単位：億円

	2022年度	2023年度	対前年 増減率	中期経営計画 初年度(2023年度)	
	実績金額	予想金額		金額	予想比増減率
売上高	368.4	355.0	▲3.6%	380.0	▲6.6%
営業利益	50.6	44.0	▲13.0%	48.0	▲8.3%
営業利益率	13.7%	12.4%	—	12.6%	—
EBITDA(償却前営業利益)	60.1	57.2	▲4.8%	61.0	▲6.2%
EBITDAマージン	16.3%	16.1%	—	16.1%	—
経常利益	53.9	47.0	▲12.8%	51.5	▲8.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	40.8	32.5	▲20.3%	36.0	▲9.7%
1株当たりの当期純利益(円)	174.4	142.3	—	157.8	—

* 連結業績予想の修正は公表(2023年10月30日)。

2023年度通期 連結業績予想 セグメント別

単位:億円

	2022年度実績(*1)			2023年度予想(*2)			2023年度計画(*1)			対前年 増減率			対計画 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	284.5	41.6	50.1	271.0	37.0	49.3	280.3	37.0	49.0	▲4.7%	▲11.1%	▲1.6%	▲3.3%	0.0%	0.6%
ビューティケア	71.7	19.5	21.4	85.0	22.0	24.5	82.9	18.4		18.6%	13.1%	14.7%	2.6%	19.9%	
ヘルスケア	56.6	7.0	11.3	60.0	4.2	11.8	61.3	4.9		6.0%	▲40.0%	3.9%	▲2.2%	▲13.4%	
ファインケミカル	70.5	12.4	14.5	52.0	7.5	9.6	56.4	10.7		▲26.3%	▲39.6%	▲33.7%	▲7.9%	▲29.8%	
トレーディング	85.7	2.8	2.9	74.0	3.3	3.4	79.7	3.1		▲13.6%	20.0%	17.0%	▲7.1%	5.4%	
環境衛生製品 (ハイジーン)	80.7	7.4	8.1	81.7	6.0	6.6	97.2	10.0	10.6	1.2%	▲19.2%	▲18.6%	▲15.9%	▲40.0%	▲37.7%
その他	3.2	1.5	1.9	2.3	1.0	1.3	2.5	1.0	1.4	▲27.4%	▲34.2%	▲29.6%	▲8.0%	0.0%	▲4.3%
連結合計	368.4	50.6	60.1	355.0	44.0	57.2	380.0	48.0	61.0	▲3.6%	▲13.0%	▲4.8%	▲6.6%	▲8.3%	▲6.2%

*1 サブセグメント:「2022年度実績」および「2023年度計画」の修正。

*2 連結業績予想の修正を公表(2023年10月30日)。

機能的製品 ビューティケア

外部環境

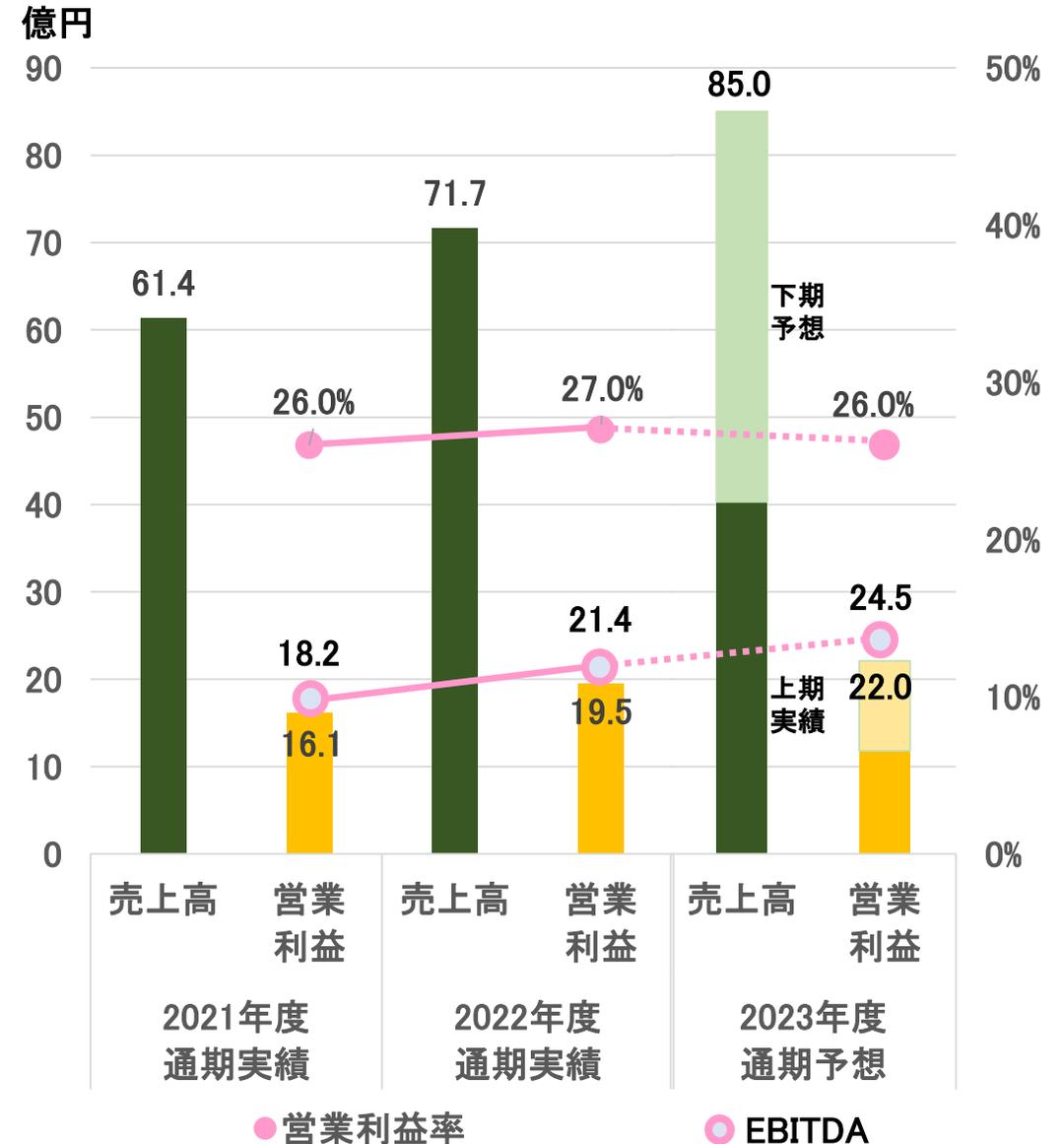
- (+) 国内市場のコロナ影響からの回復の兆し。
- (+) 欧米ブランドからのサステナブル素材への需要拡大。
- (+) 長期的には化粧品人口の増加でグローバル市場拡大。
- (-) 中国経済の減速。

下期の見通し

- (+) 海外向け「化粧品用機能的油剤」の需要拡大。
- (+) 国内向け「化粧品用リン脂質素材」「生理活性物質」の販売が堅調を維持。
- (-) 化粧品用ウールグリース誘導体の販売減少。

活動方針

- ・顧客の処方開発をサポートするために、化粧品用オープンラボを開設(12月)。
- ・サステナブル素材の拡販と更なる認証対応の推進。
- ・化粧品用リン脂質素材の開発と拡販を強化。
- ・生産能力増強に向け新プラント建設計画の推進。



機能的製品 ヘルスケア

外部環境

- (+) 成長モダリティに当社の医薬品用脂質の応用が可能。
- (+) 医薬品開発の分業化。
- (-) 競合の参入や再編による競争激化。

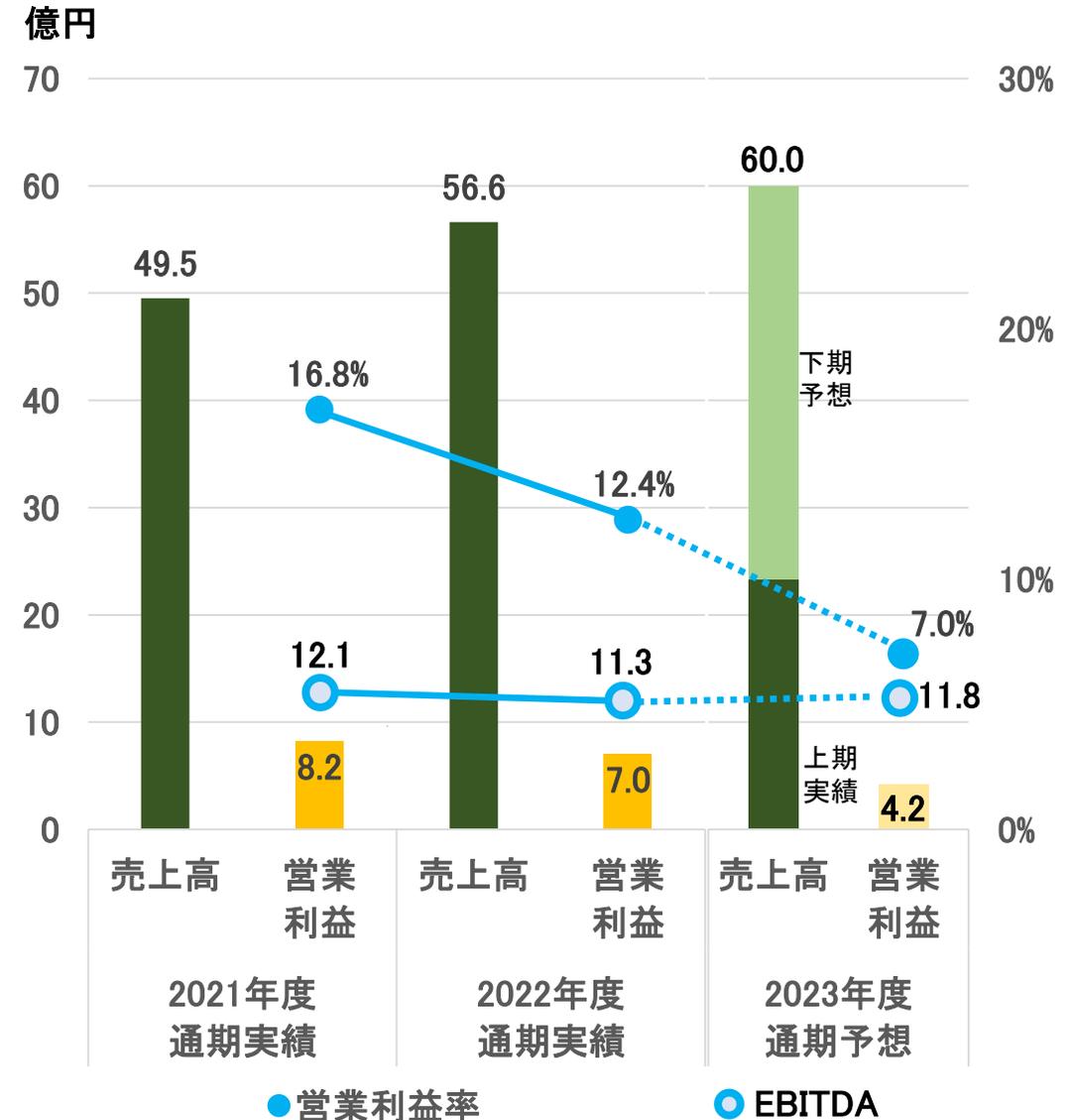
下期の見通し

- (±) 医薬品用リン脂質: 新プラントは計画通り稼働。
- (+) Gilead向け: 商業生産の開始。
- (+) 医薬品用リン脂質: 主要顧客の下期シフトによる販売増。
- (+) 海外向け医薬品用ウールグリース誘導体の販売が堅調を維持。
- (-) 医薬品中間体の受託品目の選択と集中による販売減少。

活動方針

- ・湘南ラボでのオープンイノベーションを推進。
- ・リポソーム化、LNP化のテーマの取込み分業化へ対応。
- ・医薬品用リン脂質:
新プラントの商業生産への移行の確実な実施。
- ・医薬品中間体: 選択と集中の継続。

*LNP: リピッドナノパーティクル



機能的製品 ファインケミカル

外部環境

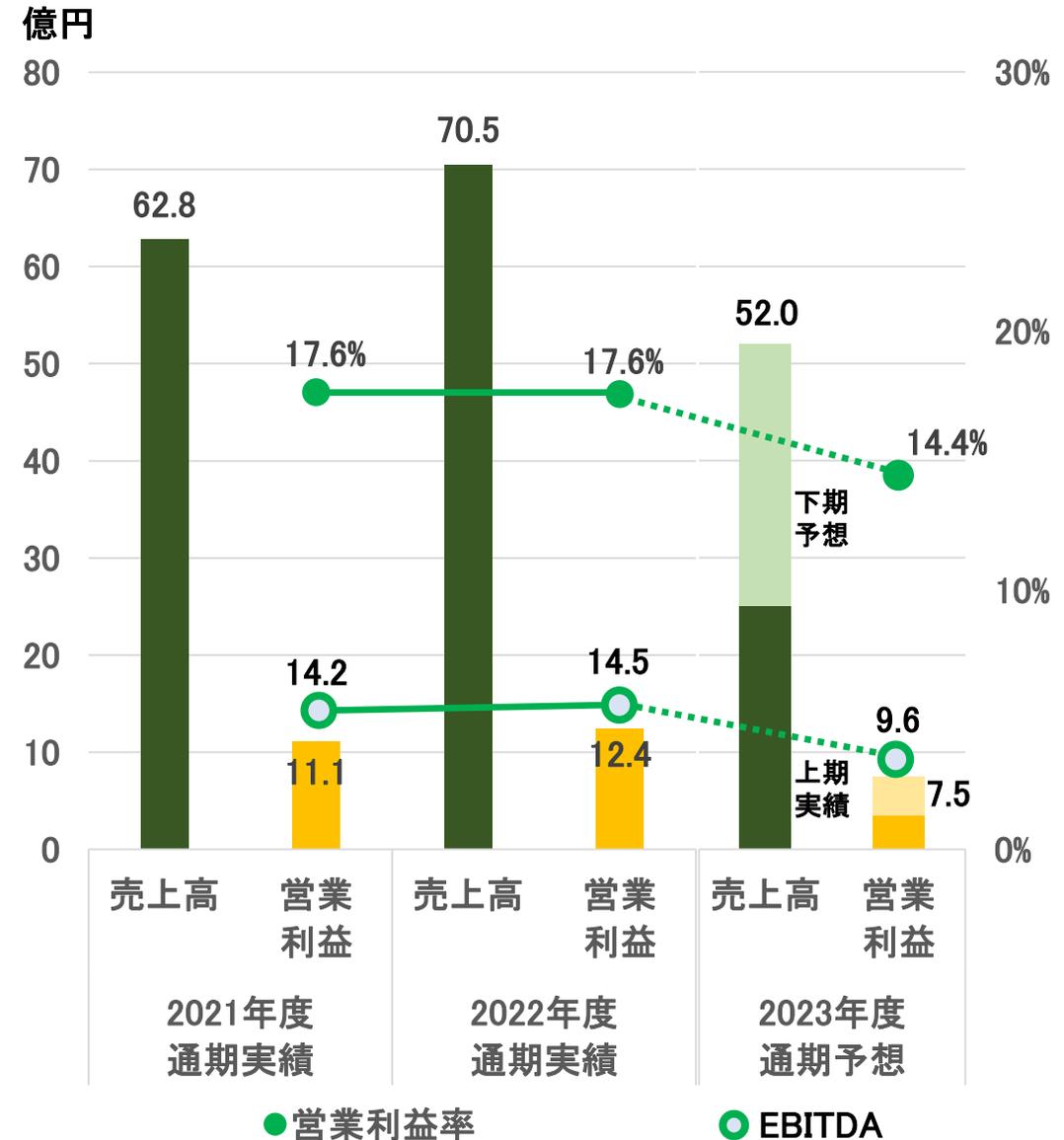
- (+) ペロブスカイト型(PSC)太陽電池: 政府が開発加速を表明。
- (+) サステナブル素材の需要の拡大。
- (-) 中国経済の減速による需要減。
- (-) 素材調達のリスク(気候変動、為替、ウクライナ情勢など)。
- (-) 海外競合の参入による価格競争の激化。

下期の見通し

- (-) 飼料用コレステロールの競争激化による販売減少。
- (-) 中国をはじめとする海外経済の減速による販売減少。
- (-) 不採算品目からの撤退による販売減少。
- (+) PSC太陽電池材料の社会実装の加速。

活動方針

- ・基本方針: 製品の選択とリソースの集中、販売価格の適正化。
- ・PSC太陽電池材料: 量産化の確立、次世代素材の開発に着手。
- ・飼料用コレステロール: 市場環境に見合う効率的生産体制の推進。
- ・脂肪酸アマイド: サステナブル社会に貢献する用途の販売拡大。



環境衛生製品 ハイジーン

外部環境

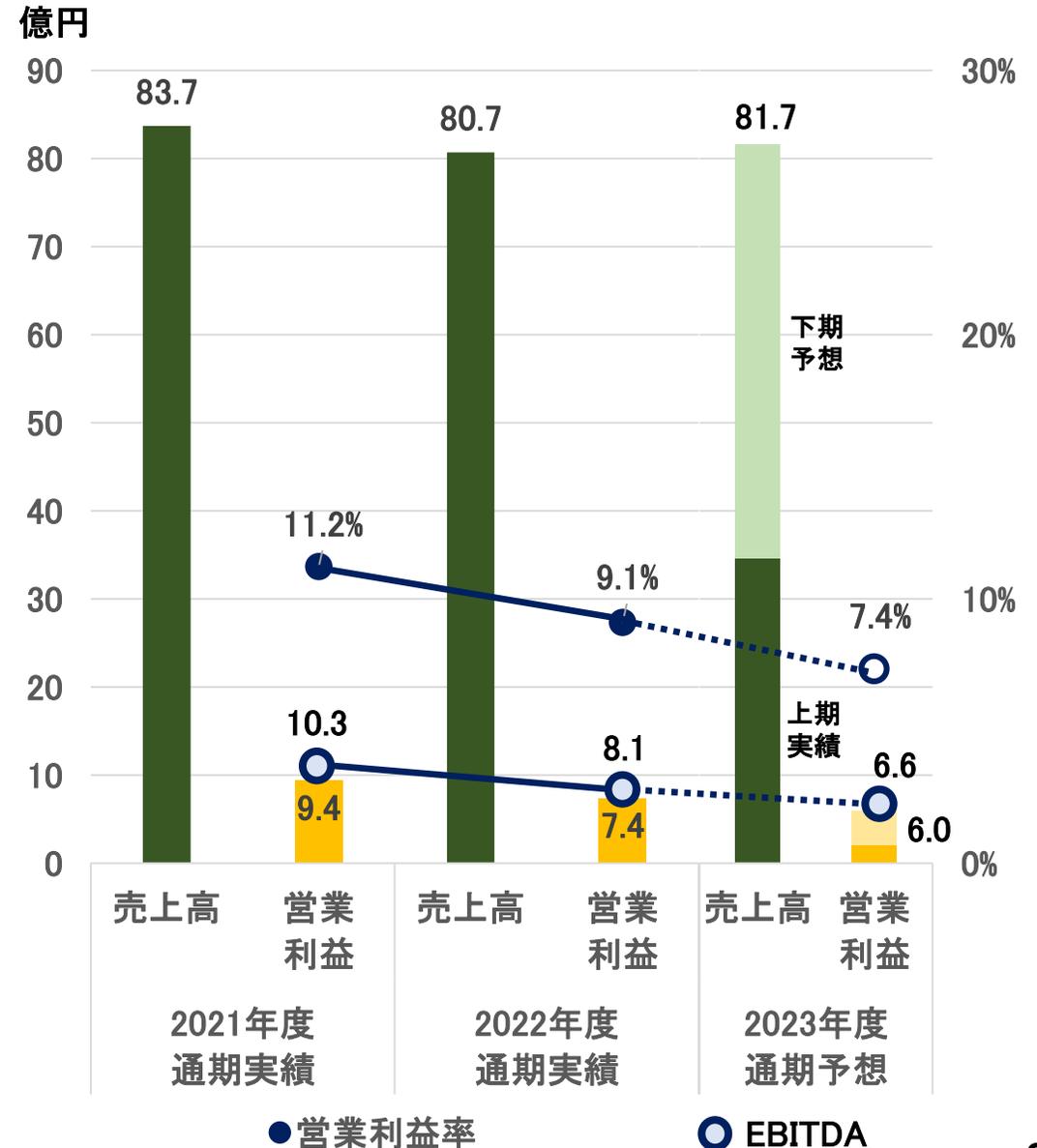
- (+) 行動制限解除に伴う人流の増加。
(面会に伴う病院関連施設での感染対策品使用増)
- (+) 季節性インフルエンザ流行による一部需要回復。
- (-) 感染対策への意識低下。(感染対策品の使用減)

下期の見通し

- (+) 備蓄買替需要に伴う長期保存(5年)手指消毒剤の販売による増加。
- (+) 病院・介護施設における面会緩和による販売増。

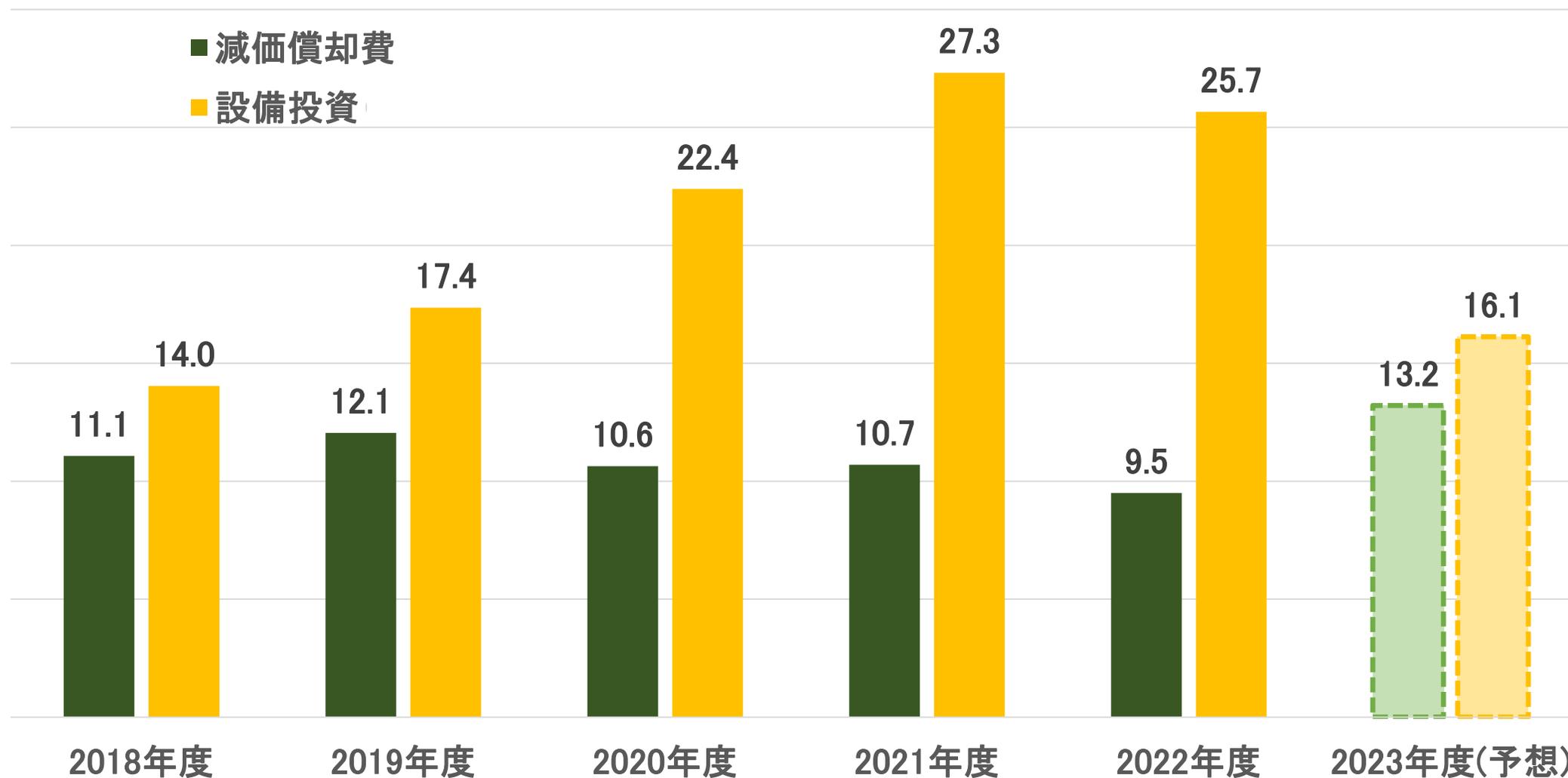
活動方針

- ・自治体および企業備蓄への手指消毒剤の販売強化。
- ・サステナブル製品(濃縮タイプ、他)の上市、ラインナップ拡充による拡販。
- ・病院・介護施設への販売強化。
- ・食品工場の設備洗浄に適した洗浄剤の拡販。

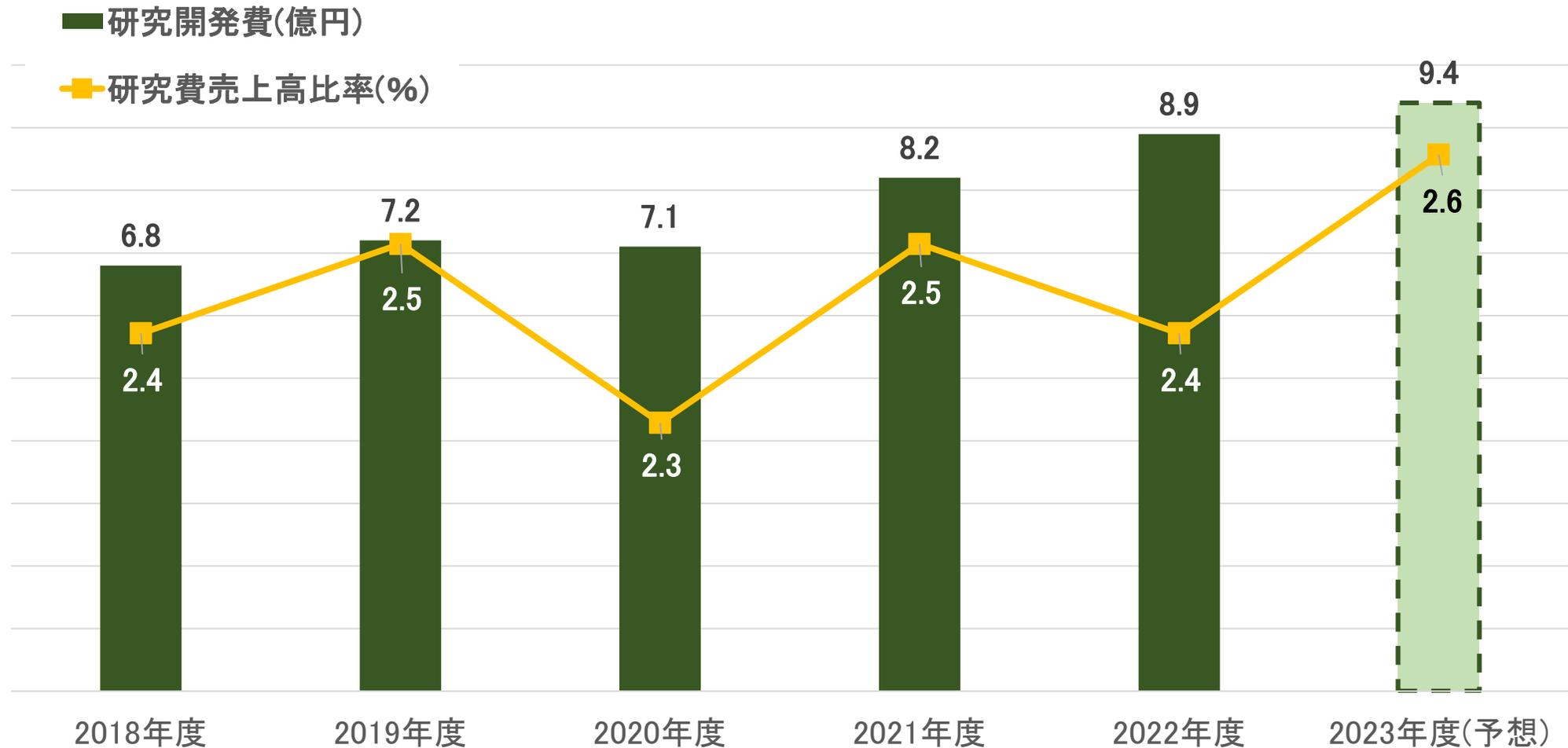


2023年度通期 連結予想 設備投資

単位:億円



2023年度通期 連結予想 研究開発投資



- ・環境負荷を軽減した生産プロセスの確立を加速させる。
- ・フローリアクター(連続反応)による合成方法の確立を着実に進める。

2023年度通期 連結予想 資本政策

	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	2023年度 計画
DOE(%)	2.0	2.1	2.1	3.0	3.0	3.5 (期末予想)	3.5 (目安)
一株当たり配当額	30円	33円	35円	54円	57円	70円 (期末予想)	70円
総還元性向(%)	31	30	30	45	79	—	50以上(*1)
政策保有株式比率(%)	27	23	28	24	25	—	—

(*1) 第14次中期経営計画の期間中で平均50%以上

■ 第2四半期まで状況

政策保有株式の一部を売却

■ 下期の見通し

自社株買い35万株(10億円)実施予定(2023年10月30日公表済み)

■ 配当7期連続増配見通し

※DOE : 連結純資産配当率 (年間配当総額 ÷ 連結純資産、若しくは配当性向 × ROE)

総還元性向 : (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

政策保有株式比率 : 「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」の「貸借対照表計上額の合計額」が連結純資産に占める比率

- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。